

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



山本梨央 ちゃん
(令和2年6月生まれ・上辺見)
初節句! ばあちゃんにドレス作ってもらったよ♡
(父: 恭平、母: 奈那美)



大泉朱凜 ちゃん
(令和2年8月生まれ・南間中橋)
いつもニコニコな笑顔でずーっと仲良くいようね☆
(父: 浩、母: 千尋)



坂本澪音 くん(左)
煌羽 くん(右)
(平成30年5月生まれ
令和2年2月生まれ・上辺見)
仲よし兄弟♡いっぱい笑って大きくなってね♡♡
(父: 尚己、母: 愛美)



欠端理玖 くん
(令和2年4月生まれ・駒羽根)
いつも笑顔で、元気な理玖が大好きだよ♪
(父: 鉄也、母: 夕見子)

お子さんの写真を募集中! <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください!



わたしの夢

心もサポートできる看護師に

高橋陽さん 釈迦小学校6年生

わたしの将来の夢は、患者さんを気づかえる看護師です。

テレビで、病気と闘っている人たちを見る機会がありました。その中には、私よりも小さな子どもたちもいました。その人たちが、つらい治療でも前向きに闘っている姿を見て、少しでも力になりたいと思いました。

また、つらい治療を受けていく中で、心が弱くなってしまふ人もいと思うので、心のケアをして、心の面でもサポートできる看護師を目指したいです。



キラリ
古河ビト

一緒に夢を叶えたい

故郷で新しいステージへ

塚田正義さん(31歳・下大野)

高校卒業後、白鷗大学からドラフト3位で福岡ソフトバンクホークスに入団し、プロ野球選手になるという夢を叶えた塚田さん。平成30年に引退し、現在は生まれ育った古河市で子どもたちの野球指導に当たっています。地元で新たな一歩を踏み出した塚田さんに、これからの目標などを伺いました。

高校卒業と同時に野球から離れてしまう友人が多い中、大学でも野球漬けの毎日を送っていた塚田さん。プロ野球選手を本格的に意識し始めたのは大学2年生の頃。今まで自分の夢をサポートし続けてくれた両親には感謝の言葉しかないと話します。

8年間のプロ生活後は、球団職員としてジュニアチームのコーチを務めました。日々成長していく子どもたちの姿を見て、あらためて野球に魅力を感じたと振り返ります。現在は故郷の古河市に戻り、野球スクールで子どもたちの指導を行う傍ら、拠点となる室内練習場の整備を進めています。質の高い環境で野球をさせたいという思いは、プロ野球選手だった自身の経験に裏打ちされたものです。

古河市では、中学校卒業後に市外の強豪校へ進学する選手が多いことを塚田さんは残念そうに話します。「自分が指導した子どもたちが市内の高校から甲子園に出場し、プロの道に進んでくれたら…」そんな夢も語ってくれました。

かつて両親がサポートしてくれたように、今度は自分が子どもたちをサポートしてあげたい。そう話す塚田さんの目は、プロを目指して白球を追いかける野球少年のように輝いて見えました。

~Profile~

1989年7月23日生まれ。
古河市立中央小学校→総和中学校→古河第一高等学校→白鷗大学。
2011年、ドラフト3位で福岡ソフトバンクホークスに入団。プロ生活8年を過ごし、現役生活を終えた今は、地元古河市で子どもたちの野球指導に当たっている。



▲キャッチボールをする塚田さん



▲野球スクールでの風景